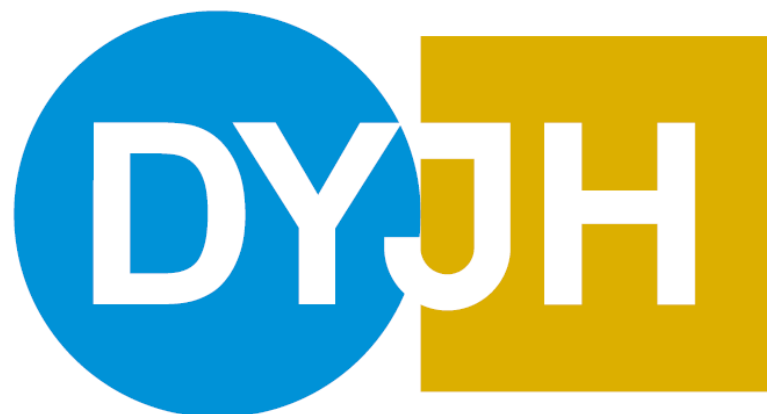




ダイナムジャパンホールディングス

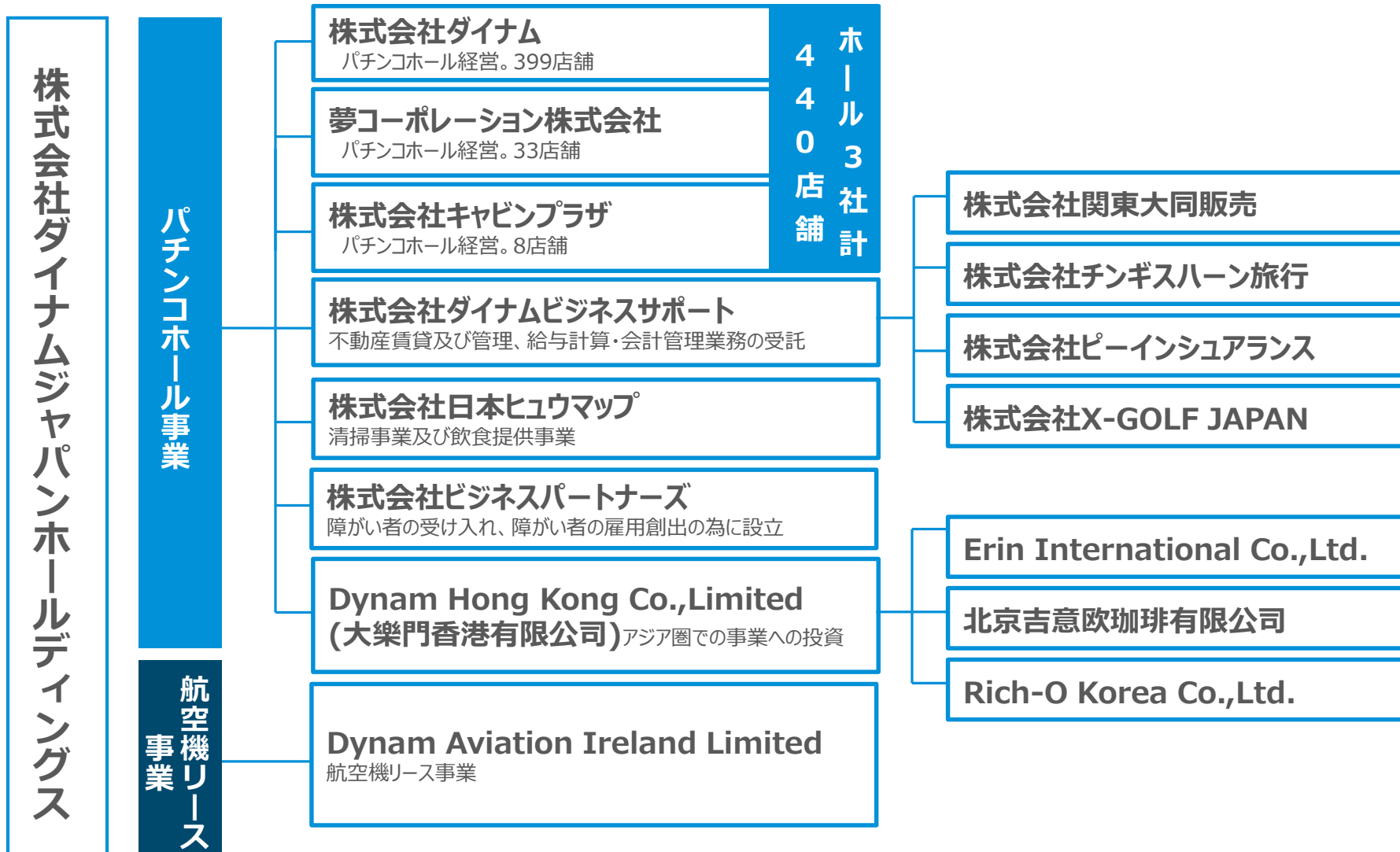
2021年3月期 決算説明会
(参考和訳)

2021年5月27日

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

DYJHグループ企業組織図（2021年5月27日現在）



1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当期	前期	前期比	増減
営業収入	98,602	142,483	69.2%	▲43,881
営業費用	101,904	127,331	80.0%	▲25,427
営業利益	6,728	21,514	31.3%	▲14,786
当期利益	2,351	12,747	18.4%	▲10,396

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による店舗休業に伴い、特に1Qのパチンコホール事業の収入が大きく低下。
- ・その後、収入の持ち直しに加え経費コントロールを行うことで当期利益で黒字を確保。

2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

（単位：百万円）

	当期	前期比	増減	概要
営業収入	90,993	68.6%	▲41,720	自治体の要請に対応した臨時休業（4～5月） 感染症拡大による稼働回復の遅れ（6～3月）
機械費	14,719	59.8%	▲9,893	遊技機購入を抑制
人件費	38,084	88.4%	▲4,997	パート人件費の抑制 給与・賞与の減額
その他費用	40,712	96.4%	▲7,291	店舗営業費用の削減
営業外損益	5,865	498.3%	+4,688	政府からの雇用調整助成金の受取り
経常利益	3,343	18.4%	▲14,849	—

※パチンコホール事業の中核会社（ダイナム）の日本基準での決算数値

2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

2021年3月31日現在

項目	当期	前期	増減	概要
店舗数	401舗	405店舗	▲4店舗	新規開店：茨城稲敷店 閉店：群馬伊勢崎店、西日暮里店(パチンコ館) 日立店、佐賀神埼店、鳥取安長店
パチンコ稼働率 (※①)	28.2%	41.4%	▲13.2pt	コロナ禍での客数減少
スロット稼働率 (※①)	27.0%	38.2%	▲11.3pt	コロナ禍での客数減少
設置台数	187,843台	189,140台	▲1,297台	設置台数業界シェア 4.7%
P B機設置台数	16,742台	12,658台	+4,084台	設置割合12.7%（前期差+3.2pt）（※②）

※① 稼働率…ピーク時（15時前後）の[実客数／設置台数]2020年4月1日～2021年3月31日の平均

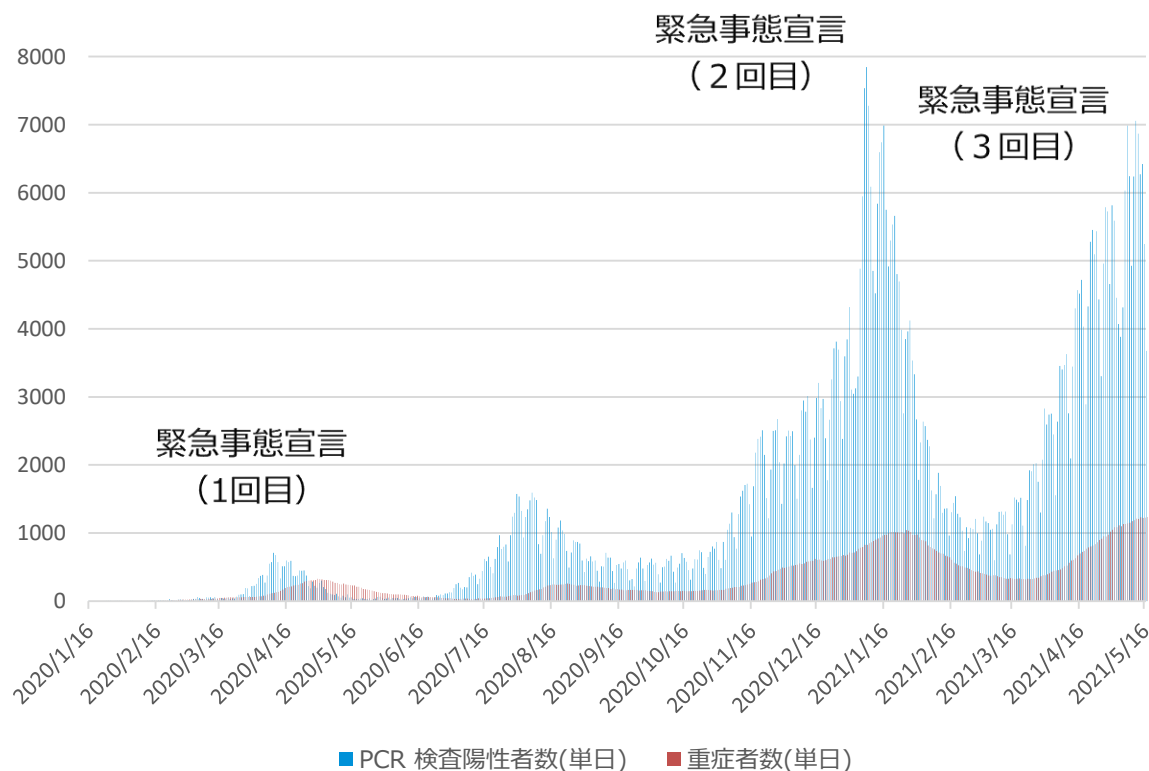
※② 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

3-1. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（1）日本におけるコロナウイルスの感染状況

日本でのコロナウイルス感染状況は、2021年に第4波が訪れ、現在、3度目の緊急事態宣言が発令されている状況。これにより、指定された都道府県において、飲食店・娯楽施設をはじめとする業種で休業・時短営業など営業活動の縮小を余儀なくされている。



緊急事態宣言 (期間・発令都道府県)

1
回
目

- ・4/7～5/25
- ・45都道府県が対象。

2
回
目

- ・1/8～3/21
- ・11都府県が対象

3
回
目

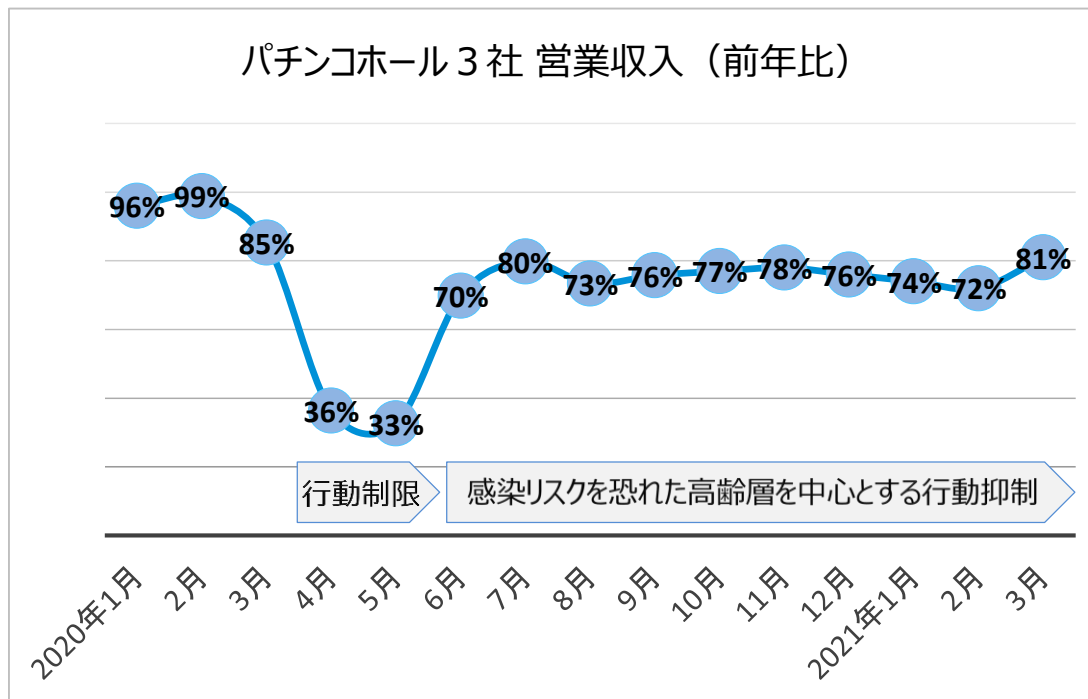
- ・4/25～継続中
- ・10都道府県が対象

※日本全国で都道府県数は47

3-1. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（2）自社業績の推移 ～パチンコ事業収入～

新型コロナウイルスの影響については、緊急事態宣言の発令に伴う行動制限によるマイナス影響だけではなく、感染リスクへの恐れから、特に高齢層を中心に集客に大きく影響している。



コロナ前後でのお客様の来店状況

年代	来店されていない 人数の割合
20代	9%
30代	9%
40代	10%
50代	12%
60代	13%
70代	14%

※自社会員データより。2020年2月度に
来店した会員が、コロナ後の2021年
3月までに来店した値から算出

3-1. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

(3) 自社独自の感染症対策

業界のガイドライン遵守に加えて、当社グループ独自の感染症対策を実施し、お客様と従業員の安全を確保。ホールでのクラスター事例は、未だに発生していない。



自動検温装置

- ✓ 全店舗（全ての出入口）へ設置
- ✓ 入店時に体温を非接触で測定
- ✓ 37.5℃以上の検知でアラート発生
体調不良者の入店をお断り



光触媒コーティング

- ✓ 光触媒（酸化チタン）により
ウイルス等を分解・無害化
- ✓ 遊技台・設備の他、店内施設へ
コーティング施工を実施



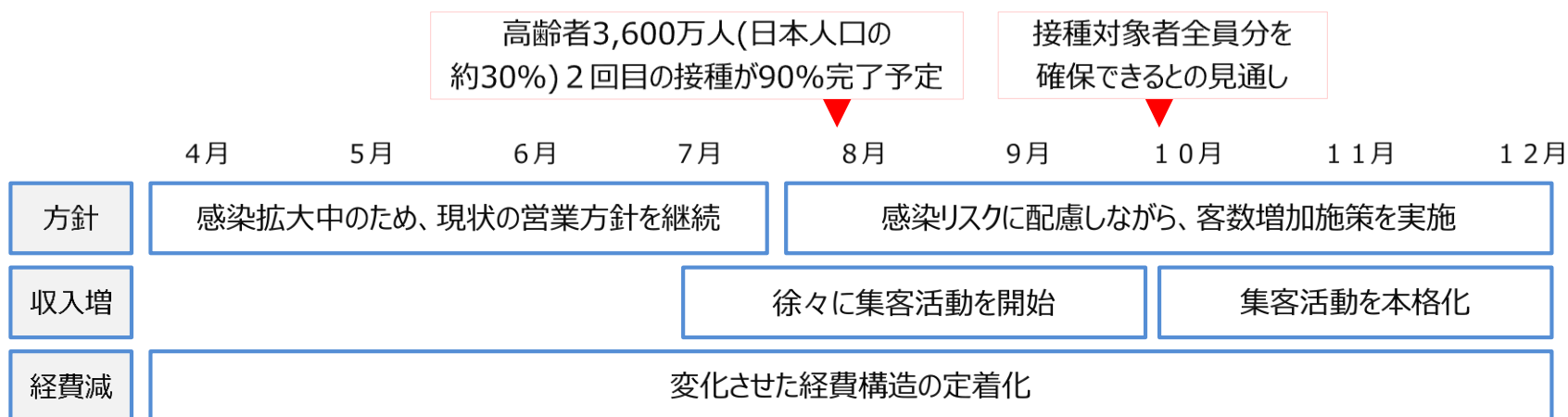
オゾン発生装置

- ✓ 密になりやすく、マスクを外す喫煙
ルームをオゾンにより消臭・除菌
- ✓ 塩素の約6倍の酸化力でウイルス
に直接作用（低濃度のため無害）

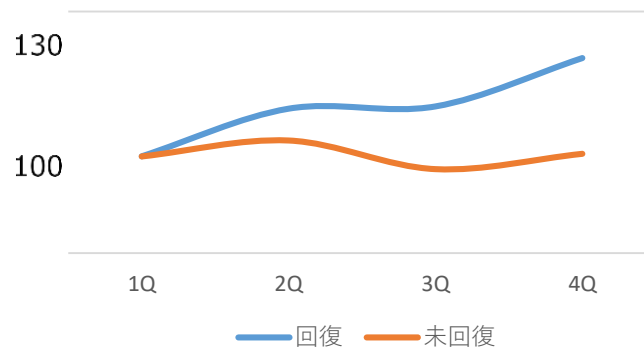
3-1. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（4）自社取り組みについて

世界的なワクチン接種のペースと比較して日本のペースは大幅に遅延しているが、ワクチン接種スケジュールを考慮し、収益改善と客数回復を図る。



営業収入イメージ



- ✓ 高齢層のワクチン接種の広がりとともに収入の回復を見込む
- ✓ 2022年3月にコロナ前の状態に戻すことが目標

※2021年1Q営業収入を100とする

3-2. 基幹事業（パチンコホール事業）の展望

（1）企業成長に向けた取り組み

ビジョン

「パチンコ・スロットを誰もが楽しめる日常の娯楽に改革する」というビジョンのもと
チェーンストア経営手法を取り入れ、安くて楽しいパチンコを提供する

成長戦略

多店舗展開	安定的かつ豊富な資金力を背景に、コロナ禍で増加している居抜き物件の購入やM & Aを実施
低貸玉営業	1円パチンコ、10円スロットを中心とした遊びやすい価格での遊技提供
商品開発	顧客ニーズを自社開発の遊技機に反映 遊技台価格を将来的に1/2程度まで低下させることが目標
データドリブン	遊技データ、顧客データを基にお客様のニーズを捉え、遊技機の品揃えなどに反映
ローコストオペレーション	安定した低価格での遊技を提供するため、作業標準化を中心とした経費削減等の実施

3-2. 基幹事業（パチンコホール事業）の展望

（2）企業成長に向けた取り組み ～多店舗展開～

コロナウイルスの影響により、パチンコ業界全体が冷え込む
（業界平均での客数の戻りは80.1%）



過去最大級の店舗閉鎖が発生中
（2020年で666店舗が閉店）



居抜き出店、M & Aを行い、店舗数の拡大を図る好機



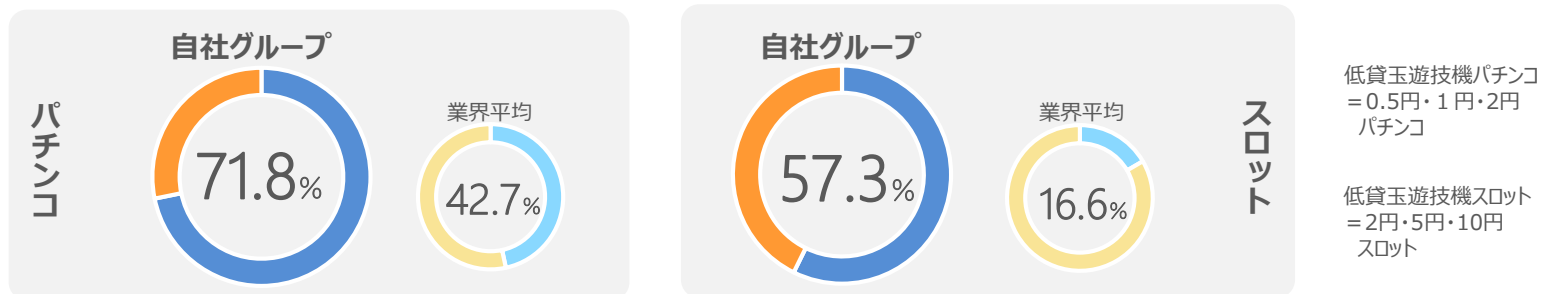
- ✓ 自社グループの店舗数は業界1位
- ✓ 全国47都道府県中46地域へ出店しており、各地の物件に対応可能

3-2. 基幹事業（パチンコホール事業）の展望

（3）企業成長に向けた取り組み ～低貸玉営業～

取り組み	「パチンコ・スロットを誰もが楽しめる日常の娯楽に改革する」というビジョンのもと、低貸玉営業を推進		
優位性	1	ユーザーの趣向がギャンブル的ではなく、時間型消費・体験型消費へと変化	
	2	低貸玉営業は高貸玉営業と比較すると収入が低くなるが、徹底したローコスト運営で収益を確保	
	3	参加人口の多い低貸玉営業であるため、小商圈への出店が可能 → 店舗数拡大が容易	

低貸玉遊技機 設置割合



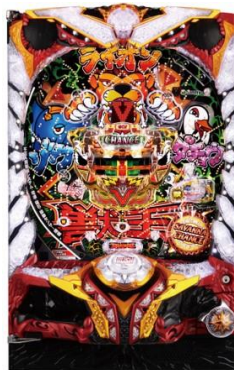
3-2. 基幹事業（パチンコホール事業）の展望

（3）企業成長に向けた取り組み ～商品開発～

	取り組み
1	メーカーとの協力関係を構築し、今までで79機種のパライベートブランド機を発売
2	直近3年間のパライベートブランド機の価格は、ナショナルブランド機比較で▲15.0%
3	さらなるコスト低減を行い、1/2の価格を目指す

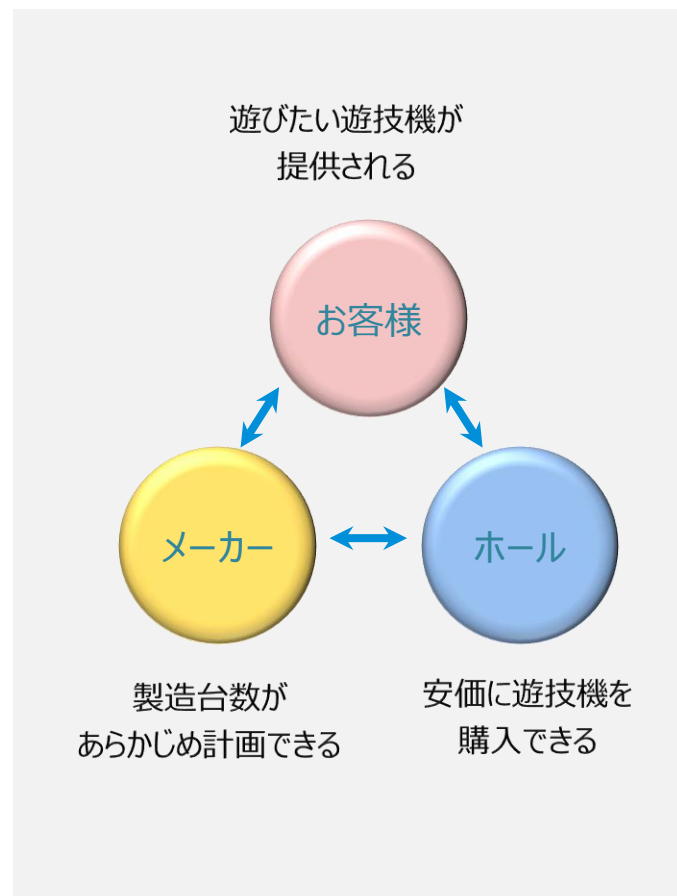


2021年5月発売
Pフィーバーパワフル
6く ver.



2021年6月発売予定
P羽根モノ獣王GO2

プライベートブランド機のメリット



1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

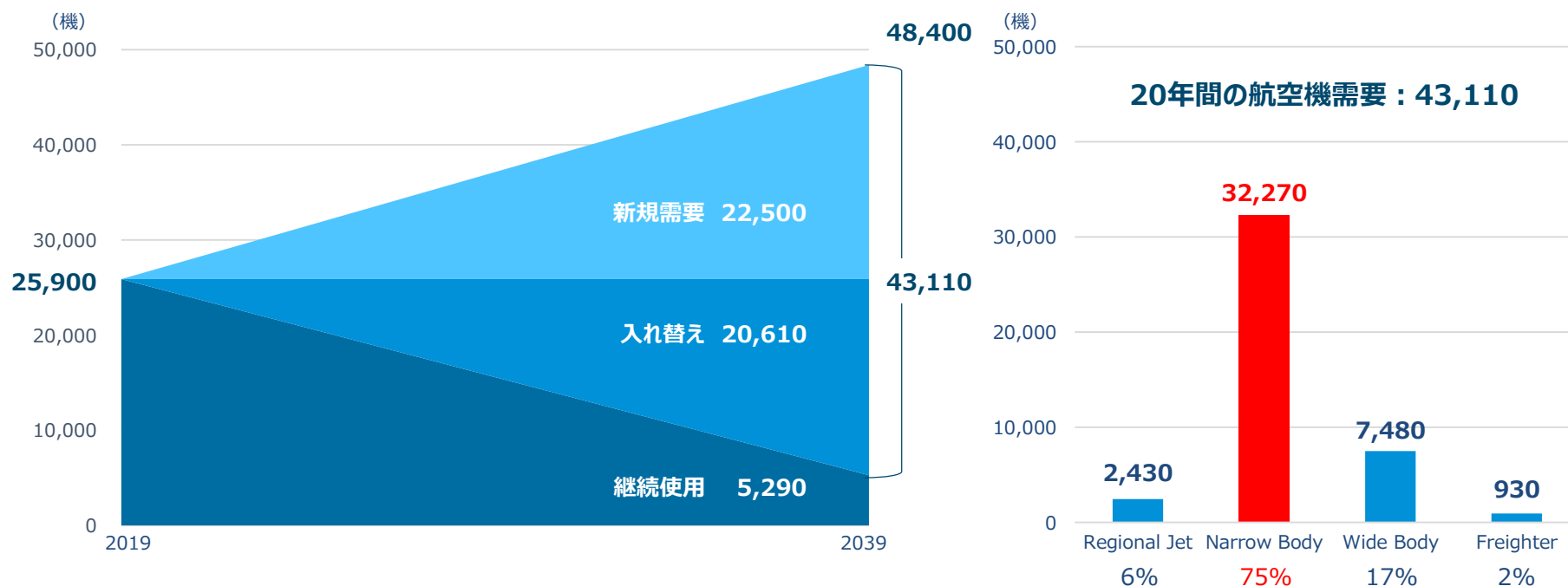
4. 航空機リース事業

■ 事業環境

航空業界は依然として厳しい状況にあり、IATA(国際航空運送協会)によると、2019年の水準に回復するのは2024年で、国内線、近距離国際線、遠距離国際線の順と予想されている。

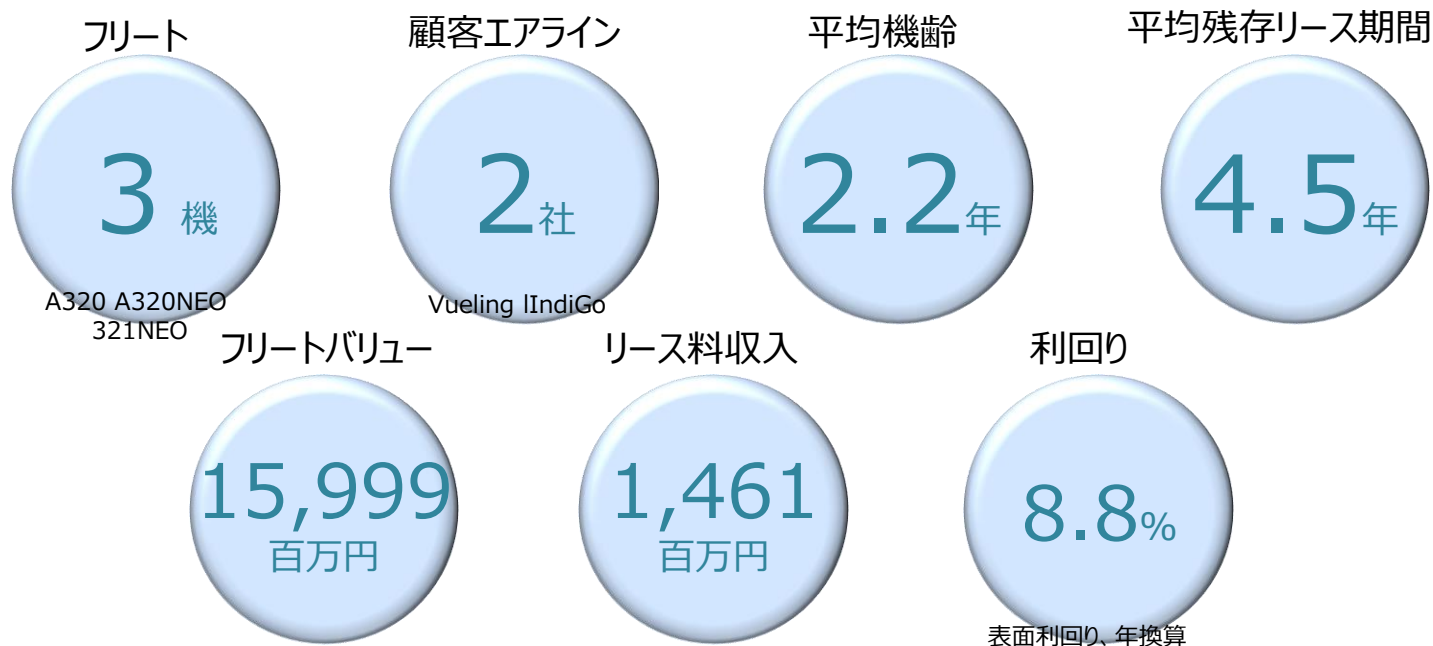
ただし、中長期的にはナローボディ機を中心に世界の航空機需要の拡大は続くと予想している。

<今後20年間の航空機需要予測> 「Boeing Commercial Market Outlook2020-2039」資料より



4. 航空機リース事業

■当期末の状況



■今後の方向性

航空会社の財務状況等を注視しながら、製造後5年以内のナローボディ機を中心に慎重に商談を進め、安定的かつ収益性の高いポートフォリオ構築を目指す。

その他事業 ～時間消費型ビデオスロットマシンの開発～

■ 販売活動

2020年9月より入境者数の約70%占める中国本土からのマカオへの入境制限が解除され、カジノ総粗利は緩やかな回復傾向。2021年3月現在、カジノ総粗利はコロナ前の2019年3月対比32.1%で推移。

→ マカオは2021年度後半には一定水準まで回復が見込まれており、販売活動再開に向けた準備を開始

■ 開発認可

(参考) マカオ = DICJ、シンガポール = CRA

機種名	認可・申請状況
パチンコボーナスシリーズ1号機	マカオ認可済、20年5月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ2号機	マカオ認可済、20年5月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ3号機	マカオ認可済、20年9月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ4号機	マカオ認可済、 21年1月シンガポール認可

シンガポールで新たに1機種の認可を取得

既にマカオで6機種、シンガポールで5機種の認可を取得しており、今後アジア圏での販売を計画

期末配当金 1株当たり配当金2.00円

■ 配当額

	期末配当	中間配当	年間配当
配当基準日	2021年6月7日	2020年12月14日	—
1株当たり配当金	2.00円	3.00円	5.00円
配当金総額	1,505百万円	2,278百万円	3,783百万円
配当金支払日	2021年6月25日	2021年1月13日	—

(参考)

当期において、自社株式13,284,600株（発行済株式の約1.7%）の市場買付を実施しております。

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

連結損益計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	前期 (2020/3)	当期 (2021/3)	増減	補足説明
営業収入	142,483	98,602	▲43,881	
パチンコ事業収入	141,919	97,141	▲44,778	高貸玉店舗 47,655(▲21,964) 低貸玉店舗 49,486(▲22,814)
航空機リース事業収入	564	1,461	897	前期の期中に取得、当期フル稼働
パチンコ事業費用	126,932	101,013	▲25,919	機械費 ▲11,264 人件費 ▲5,880
航空機リース事業費用	399	891	492	
その他収入	8,446	11,561	3,115	自販機手数料収入 ▲1,694 政府からの補助金収入 +5,544
その他費用	2,084	1,531	▲553	
営業利益	21,514	6,728	▲14,786	前期比 31.3%
金融収益	461	286	▲175	
金融費用	2,469	2,672	203	
税引前当期利益	19,506	4,342	▲15,164	前期比 22.3%
当期利益	12,747	2,351	▲10,396	前期比 18.4%
EBITDA	31,151	16,781	▲14,370	営業利益の減少に起因

（注）EBITDA は、当期利益に金融費用、税金、減価償却費及び外貨建資産換算差損益を加えて計算しております。

連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	前期末 (2020/3)	当期末 (2021/3)	増減	当期末の主な内訳・前期からの増減等
資産合計	277,239	301,073	23,834	有形固定資産 96,415
				使用権資産 77,537
				現金及び預金 74,661
				繰延税金資産 13,412
				リース債権 7,282
負債合計	142,507	169,101	26,594	リース負債 91,939
				未払金・未払費用 19,997
				有利子負債 33,967
資本金	15,000	15,000	-	
剰余金等	119,732	116,972	▲2,760	当期利益 +2,363
				前期配当支払額 ▲4,576
				自己株式の取得及び消却 ▲1,437
				その他の包括利益 890
資本合計	134,732	131,972	▲2,760	連結自己資本比率 43.8%
負債及び資本合計	277,239	301,073	23,834	

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

【連結有利子負債】

（単位：百万円）

	前期末 (2020/3)	比率	当期末 (2021/3)	比率
現金及び預金	41,810	15.1%	74,661	24.8%
有利子負債(パチンコ事業)	2,007	0.7%	23,629	7.8%
有利子負債(航空機リース事業)	11,221	4.0%	10,338	3.4%
資産合計	277,239	100.0%	301,073	100.0%

（注）新型コロナウイルス感染症拡大に備え資金調達実行。前期比較で資金量+32,851百万円、有利子負債+20,739百万円。

ネットキャッシュは12,112百万円の増加。

【連結自己資本比率】

	前期末 (2020/3)	比率	当期末 (2021/3)	比率
資本金	15,000	5.4%	15,000	5.0%
剰余金等	119,732	43.2%	116,972	38.9%
純資産	134,732	48.6%	131,972	43.8%
資産合計	277,239	100.0%	301,073	100.0%

基幹会社ダイナムの概況（日本基準で決算実施）

（単位：百万円）

	前期 (2020/3)	当期 (2021/3)	増減	補足説明
遊技業収入	128,192	88,056	▲40,136	前期比増減 P : ▲25,349 S : ▲14,787
自販機手数料収入	4,523	2,938	▲1,585	
販売費及び一般管理費	115,698	93,516	▲22,192	前期比増減 機械費 ▲9,894
営業利益	17,016	▲2,522	▲19,538	
経常利益	18,193	3,343	▲14,850	前期比 18.4%
特別利益	17	2	▲15	
特別損失	918	385	▲533	
当期利益	11,758	1,782	▲9,976	前期比 15.2%

	前期末 (2020/3)	当期末 (2021/3)	増減	補足説明
総資産	117,324	141,000	23,676	現金及び預金+27,487
負債	28,168	54,542	26,374	有利子負債+17,711
純資産	89,156	86,457	▲2,699	当期利益1,782、親会社への配当支払額▲4,558
自己資本比率	76.0%	61.3%	▲14.7	

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株)ダイナム 経営企画部 広報担当

TEL 03 - 3802 - 8285 FAX 03 - 3802 - 8563